



第14期(2013年3月期) 決算説明会

2013/05/21

modulat

モジュレ株式会社 (JASDAQ : 3043)

<http://www.modulat.com/>

目次

◇ 2013年03月期の総括	・・・	3p
◇ 2014年03月期の見通し	・・・	4p
◇ 財務諸表:損益計算書	・・・	5p
◇ 財務諸表:貸借対照表	・・・	6p
◇ 財務諸表:キャッシュ・フロー計算書	・・・	7p
◇ 売上高の推移	・・・	8p
◇ 売上総損益の推移	・・・	9p
◇ 営業損益の推移	・・・	10p
◇ 経常損益の推移	・・・	11p
◇ 当期純損益の推移	・・・	12p
◇ その他指標の推移	・・・	13p
◇ 前・中期経営計画の棚卸	・・・	14p
◇ 新・中期経営計画	・・・	15p
◇ 中期経営計画 個別サービスの進捗と計画	・・・	16p
◇ サービス拡大のイメージ	・・・	17p
◇ 中期的IT分野の展望予測(4つの重要な変化)	・・・	18p
◇ お問い合わせ		

2013年03月期の総括

期首予想を超え、新規投資も行いつつ、利益計上体質を更に強化

- ・上期は不透明感があったものの、堅実に実績を積み重ね、3期連続の増収増益。
- ・03月の上方修正も超え、売上総利益、経常利益、純利益は過去最高額を計上。
- ・新サービス構築の初期費用を投資しつつ、利益を確保。

ITサービス特化を継続し契約拡大、新たな大手クライアント様も獲得

- ・今期もITサービスは前期比16.7%増と順調。過去最高の12億円超。
- ・商品売上も回復傾向にあり、前期比23.0%増を計上。
- ・新しい大手クライアント様とのお取引開始。事業基盤の強化に寄与。

上場企業の責務を全う、復配

- ・ガバナンス強化を達成し、03月に特注指定が解除。新管理体制の評価を得る。
- ・社員数10%増加、オフィスを移転、働きやすい仕組みの模索を始める。
- ・純資産30%増加、営業C/Fも3期連続プラス。数年来の懸案であった復配を達成。

2014年03月期の見通し

堅実な成長を堅持しつつ、新サービスも収益の柱へ

- ・4期連続の増収増益を目指し、今後の数年間の規模の発展の礎にする。
- ・既存ビジネスを堅持しつつ、新サービスが収益貢献へ。
- ・売上20億円、純損益1億円へ。(人件費の適正化を推進)

新ビジネス「スマートデバイス」、「ソフトウェア関連」、「ITセキュリティ」

- ・継続ITサービスは長期化、安定化、大型化を加速。自動化ソフト内製で効率化へ。
- ・新サービスでは、ソフト、ツール×2は更に拡大、自社開発製品もリリースへ。
- ・非対面営業を指向する営業展開も開始。初のPR活動も開始計画。

現場回帰の加速、官僚主義的な制度を打破、ベンチャーらしさを再強化

- ・強化された経営管理体制を継続しつつ、ベンチャーらしさやスピード感を再強化。
- ・自由な労務環境構築をさらに加速させ、付加価値的側面からも企業価値向上を。
- ・経営基盤と財務の強化を継続。増配も目指す。

財務諸表：損益計算書

(百万円)

	12/03期			13/03期			14/03期	
	実績	対前年比		実績	対前年比		予測	対前年比
売上高	1,511	121.9%	⇒	1,793	118.7%	⇒	2,000	111.5%
ITサービス	1,040	121.2%		1,214	116.7%		1,308	107.7%
商品	470	123.4%		579	123.0%		691	119.4%
売上総利益	374	118.6%		465	124.3%		501	107.7%
ITサービス	317	122.4%		374	117.9%		406	108.6%
商品	57	103.6%		91	160.0%		95	104.2%
販管費	288	116.4%		361	125.0%		361	100.1%
営業損益	85	126.6%		104	121.7%		140	134.0%
経常損益	88	122.6%		187	212.8%		190	101.3%
当期純損益	72	111.4%		88	121.6%		100	112.7%

- ◆ ITサービスが順調 : 大手企業様の案件等に加え、商品売上も回復の兆しが見え始める。
- ◆ コスト適正化 : 将来へ向けての必要な投資を行い、販管費率は19.1%(12/03期) → 20.1%(13/03期)。 来期は販管費はほぼ変わらず適正コストを維持して営利増。
- ◆ 高利益体質へ : 収益構造の改善を続け、営業利益率の更なる向上を目指す。

財務諸表：貸借対照表

(百万円)

	12/03期		13/03期	
	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	452	36.4	531	42.7
現預金	80	6.5	163	13.1
売掛金	215	17.4	177	14.3
たな卸資産*	94	7.6	128	10.3
その他	61	4.9	61	5.0
固定資産	789	63.6	713	57.3
有形固定資産	434	35.0	348	28.0
(減価償却累計額)*	-373		-459	
無形固定資産	77	6.2	80	6.5
投資その他の資産	277	22.4	284	22.8
総資産	1,241	100.0	1,244	100.0

	12/03期		13/03期	
	金額	構成比	金額	構成比
流動負債	716	57.7	706	56.8
買掛金	182	14.7	145	11.7
1年内返予長借	265	21.4	257	20.7
前受金	165	13.3	181	14.6
その他	102	8.3	122	9.8
固定負債	238	19.2	159	12.8
負債合計	955	76.9	866	69.6
純資産	286	23.1	377	30.4
資本金・資本剰余金	408	32.9	285	23.0
利益剰余金 他	-121	-9.8	92	7.4
負債純資産 合計	1,241	100.0	1,244	100.0

*たな卸資産には、リース投資資産を含む。 *減価償却累計額には、減損損失累計額を含む。

- ◆ 現預金及び棚卸資産の増加等により、流動資産が増加。
- ◆ 貸付金の回収、減価償却及び借入金の減少により、固定資産及び負債が減少。
- ◆ 前期株主総会の承認により、資本準備金の減少及び欠損填補を行い、繰越損失を解消。当期純利益の計上によって利益剰余金が増加し、純資産が増加。

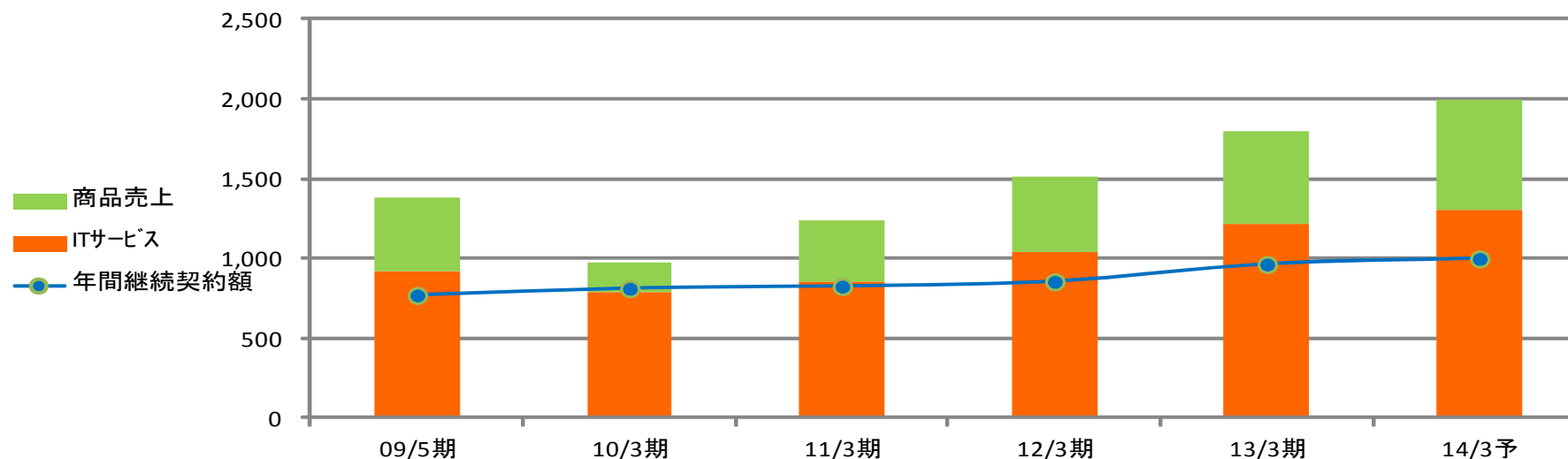
財務諸表：キャッシュフロー計算書

(百万円)

区 分	12/03期	13/03期
営業キャッシュ・フロー	158	114
投資キャッシュ・フロー	△ 88	56
財務キャッシュ・フロー	△ 39	△ 88
現金及び現金同等物の期末残高	80	163

- ◆ 営業キャッシュ・フロー : 税引前当期純利益の計上、減価償却費等により獲得
- ◆ 投資キャッシュ・フロー : 固定資産の取得等あったが、貸付金の回収等により獲得
- ◆ 財務キャッシュ・フロー : 長期借入金の返済による支出等により使用

売上高の推移



(百万円)

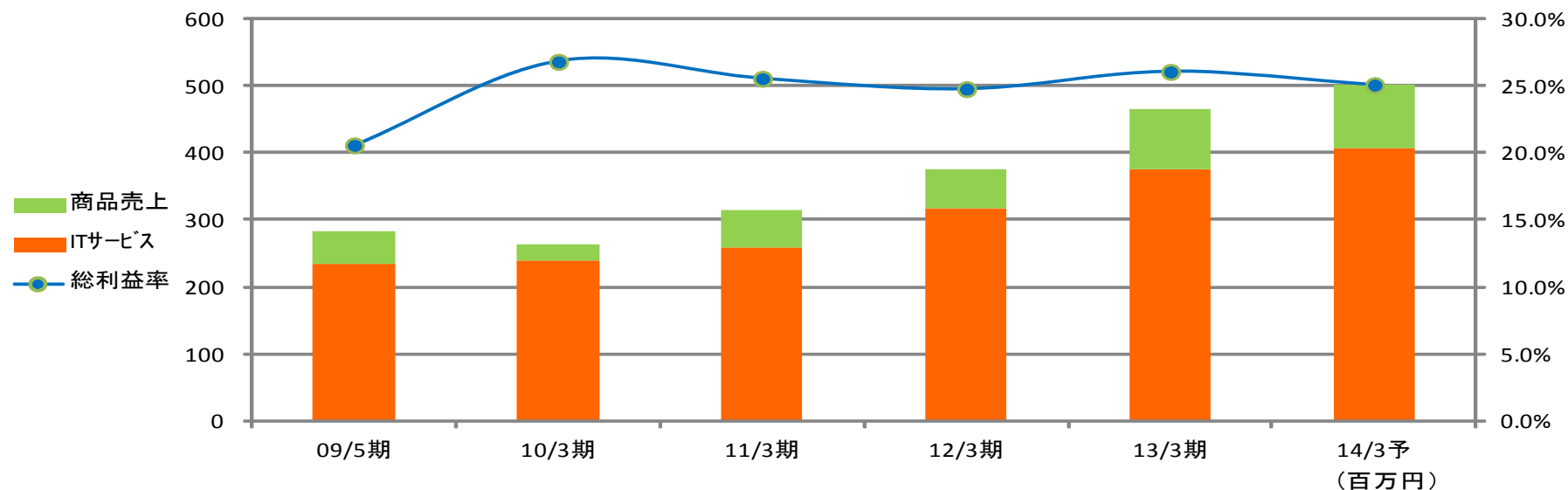
合計	1,381	978	1,239	1,511	1,793	2,000
	09/5期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3予
ITサービス	917	785	858	1,040	1,214	1,308
商品売上	463	192	381	470	579	691

年間継続契約額 771 813 827 856 965 1,000

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 13/3期 : ITサービスが順調に増加。商品売上も回復傾向の兆し。
- ◆ 14/3期 : ITサービスは着実に増加計画。商品売上も、回復傾向が続く予測。

売上総損益の推移



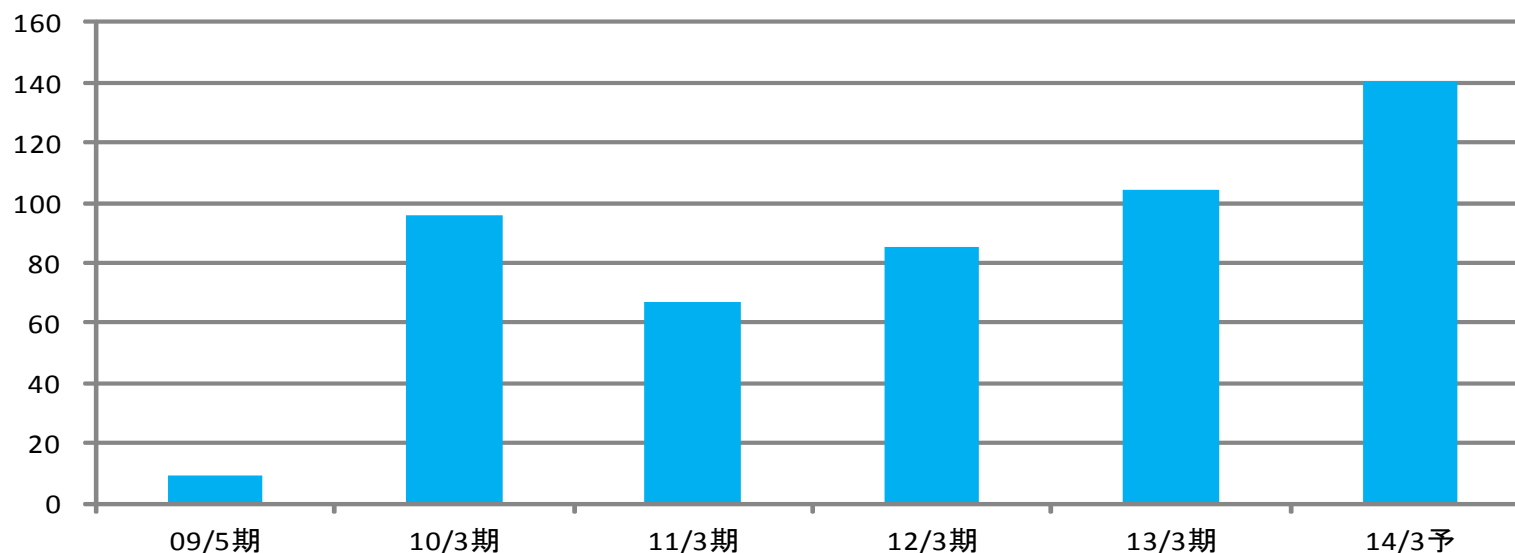
合計	284	262	315	374	465	501
	09/5期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3予
ITサービス	235	239	259	317	374	406
商品売上	48	23	55	57	91	95
総利益率	20.6%	26.8%	25.5%	24.8%	26.0%	25.1%

*09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 13/3期 : ITサービスの比率は80.4%で安定して推移。過去最高の総利益を記録。
- ◆ 14/3期 : ITサービスの比率は81.0%で、更に収益構造の改善を推進する。

営業損益の推移



(百万円)

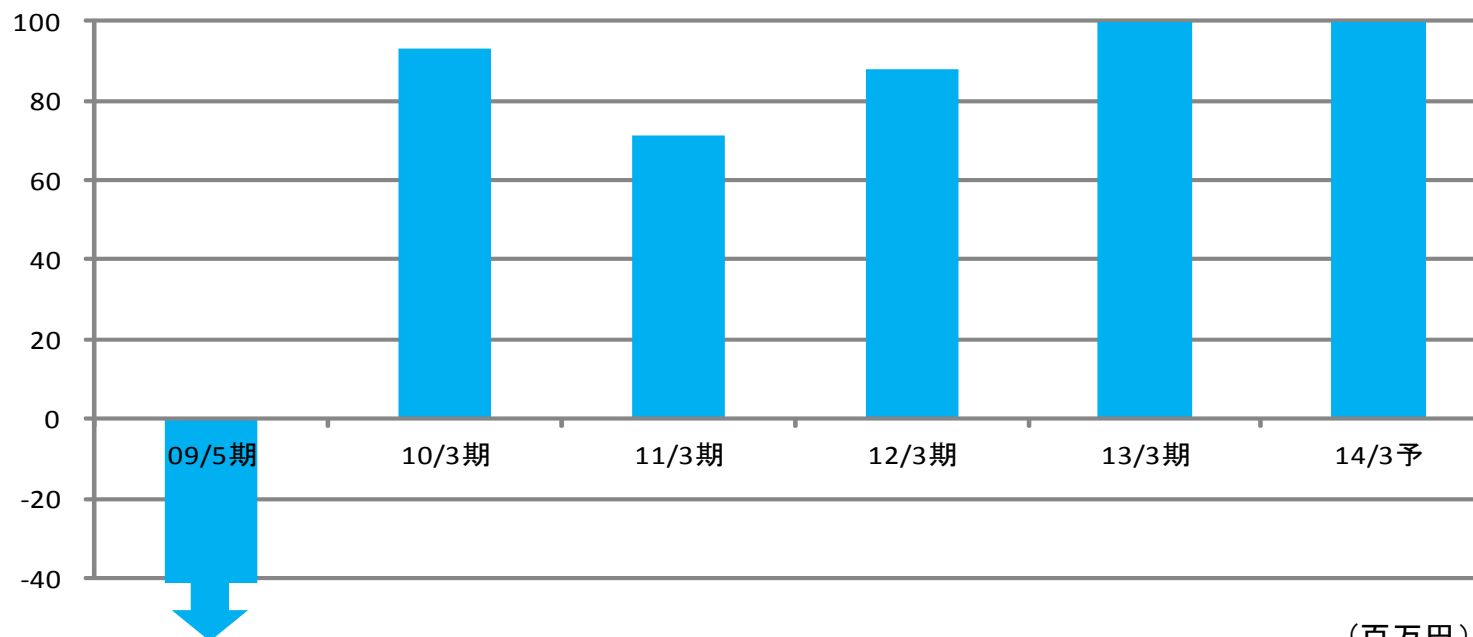
	09/5期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3予
営業損益	9	96	67	85	104	140
営業利益率	0.7%	9.8%	5.5%	5.7%	5.8%	7.0%

*09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 13/3期 : 販管費は増加だが、収益構造の改善による総利益増により、営利増。
- ◆ 14/3期 : 販管費はほぼ前期並みで収益構造を改善。利益率の向上を図る。

経常損益の推移



	09/5期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3予
経常損益	-241	93	71	88	187	190
経常利益率	—	9.5%	5.8%	5.8%	10.5%	9.5%

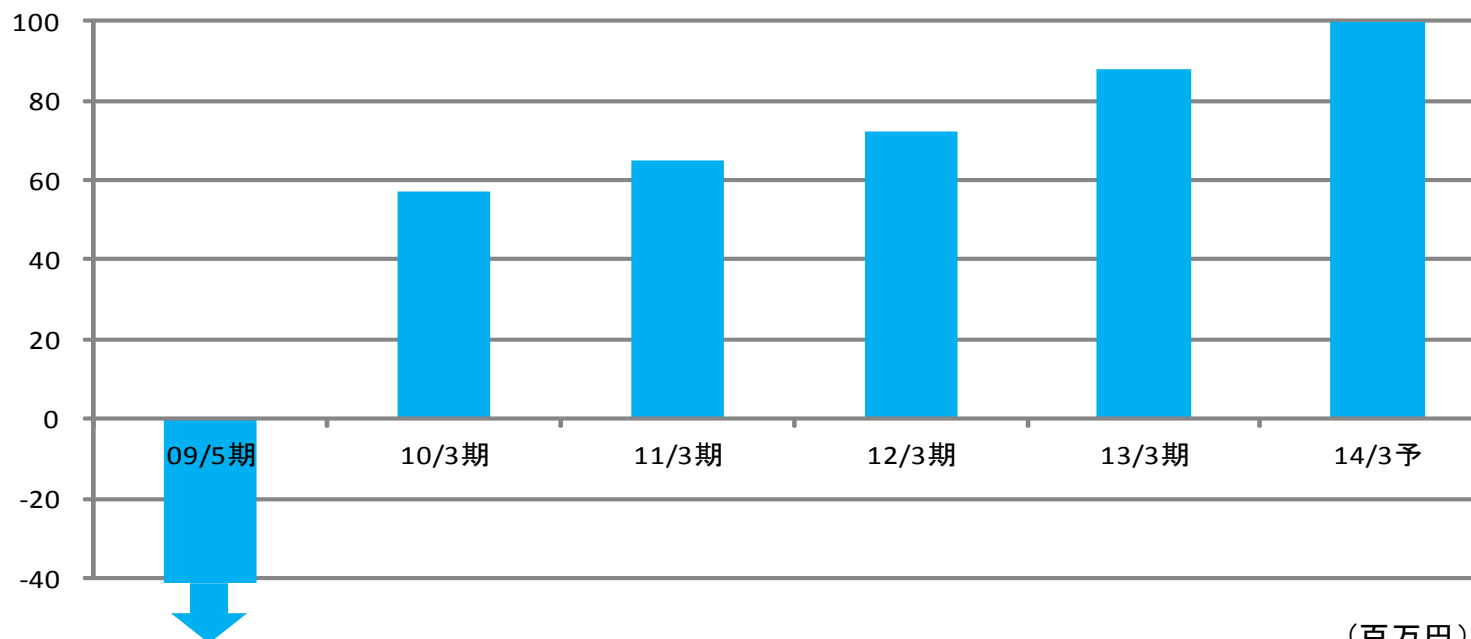
(百万円)

*09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

*10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 13/3期 : 貸付金の回収による引当金戻入により、過去最高の経常利益を記録。
- ◆ 14/3期 : 継続して着実に段階利益を計上する。

当期純損益の推移



	09/5期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3予
当期純損益	-459	57	65	72	88	100
純利益率	—	5.9%	5.3%	4.8%	4.9%	5.0%

*09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。
 *10/3期は、決算期変更により10ヶ月決算となっております。

- ◆ 13/3期 : 経常利益の大幅増を受け、当期純利益も過去最高を記録。
- ◆ 14/3期 : 堅実に挑戦を続け、当期純利益100百万円超を目指す。

その他指標の推移

	05/5期	06/5期	07/5期	08/5期	09/5期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3予
顧客数(社)	28	35	51	69	69	67	56	68	89	110
対前年	0.0%	25.0%	45.7%	35.3%	0.0%	-2.9%	-16.4%	21.4%	30.9%	23.6%
年間継続 契約額(百万円)	258	343	558	663	771	813	827	856	965	1,000
対前年	18.9%	32.9%	62.7%	18.8%	16.3%	5.4%	1.7%	3.5%	12.7%	3.6%
社員数(人)	32	36	52	50	41	41	39	56	62	65
対前年	6.7%	12.5%	44.4%	-3.8%	-18.0%	0.0%	-4.9%	43.6%	10.7%	4.8%
経常利益率	2.6%	5.5%	6.2%	2.3%	-17.5%	9.5%	5.8%	5.8%	10.5%	9.5%
EPS(円)	2,720.13	6,853.98	5,970.68	84.99	-33,552.62	4,191.93	4,782.24	53.28	64.77	72.99
配当性向	20.0%	16.4%	24.8%	—	—	—	—	—	25.0%	24.7%

•08/5期,09/5期の数値は、決算訂正後の数値を記載しております。

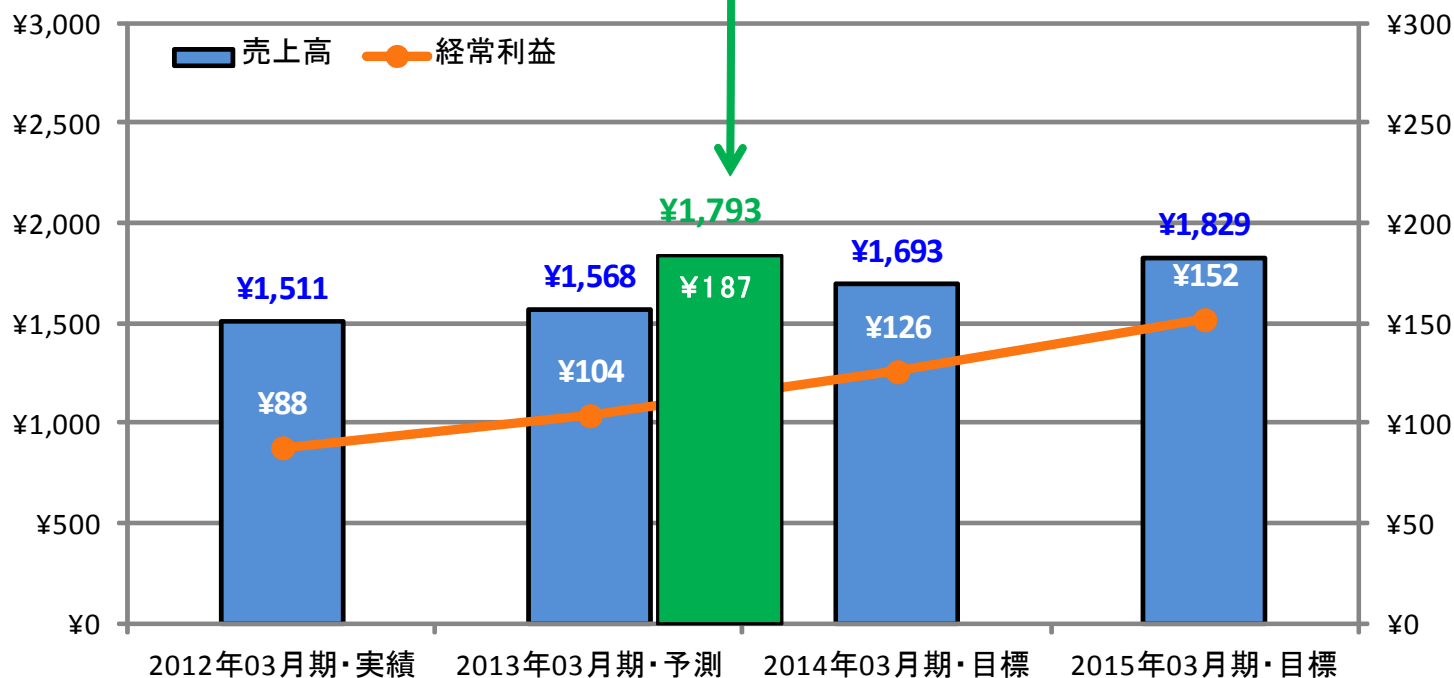
•2013年4月1日付で1:100の株式分割を実施。12/3期～13/3期のEPSは、遡及修正を行った場合の数値を記載しております。

- ◆ “顧客数”は、新規顧客を獲得して21社純増。そのうち、継続契約ありの顧客は1社増。
14/3期は、新サービスを入り口として、新規顧客を獲得して21社純増計画。
- ◆ “年間継続契約額”は、109百万円の純増。14/3期は、10億円を目指す。
- ◆ 社員数は、エンジニアチームを中心に増員。14/3期は微増予定。(効率化優先)
- ◆ 経常利益率は、引当金の戻入により増加。収益性向上を目指し継続的に改善を続ける。
- ◆ 復配を達成。配当を継続し、配当性向25%程度を基本に更に向上を目指す。

前・中期経営計画の棚卸

【前・中期経営計画と前期実績】

2013年03月期・実績	
¥1,793	(対期首計画比 114%)
¥187	(対期首計画比 180%)

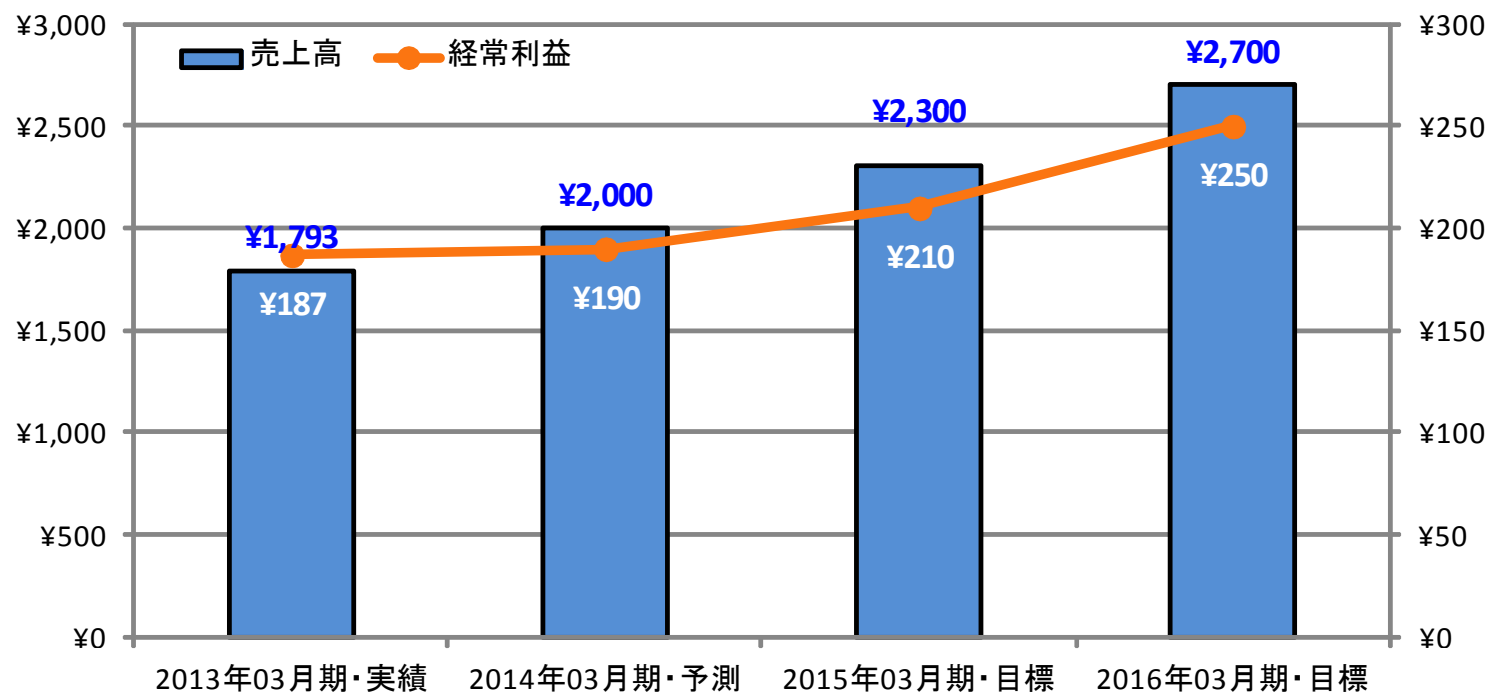


(単位: 百万円)

	2012年03月期・実績	2013年03月期・予測	2014年03月期・目標	2015年03月期・目標
売上高	¥1,511	¥1,568	¥1,693	¥1,829
経常利益	¥88	¥104	¥126	¥152

◆ 約2年前倒しでの達成 : 期首計画を上回り、2015年03月期の目標に極めて近い実績を残す事が出来ました。

新・中期経営計画



(単位:百万円)

	2013年03月期・実績	2014年03月期・予測	2015年03月期・目標	2016年03月期・目標
売上高	¥1,793	¥2,000	¥2,300	¥2,700
経常利益	¥187	¥190	¥210	¥250

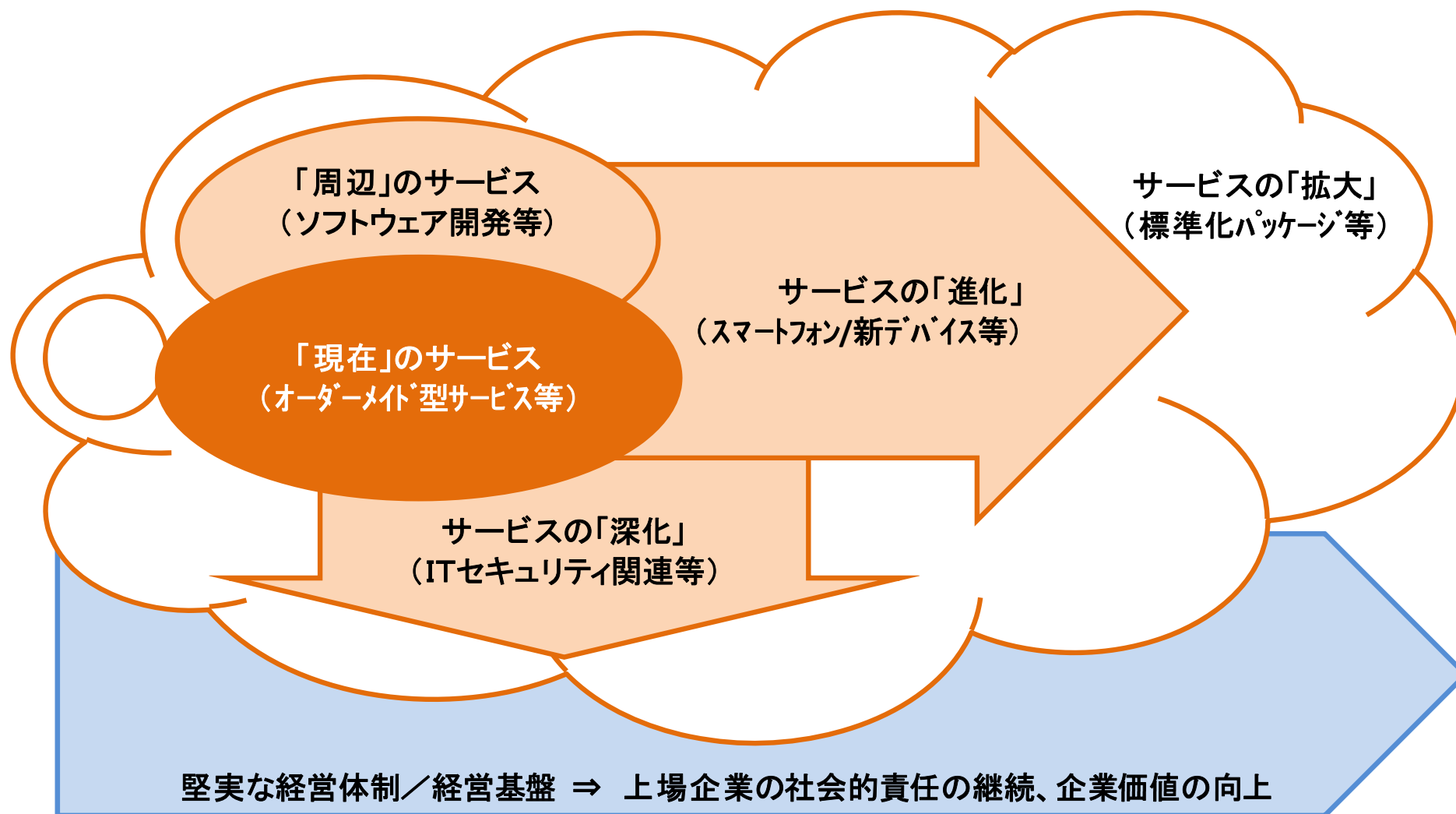
- ◆ 順調に推移している「企業向けの継続ITサービス」を中心に、引き続き、新サービス等にも注力、及び更なる経営体制の強化を力に変え、今後も力強く堅実な成長を計画しております。

中期経営計画 個別サービスの進捗と計画

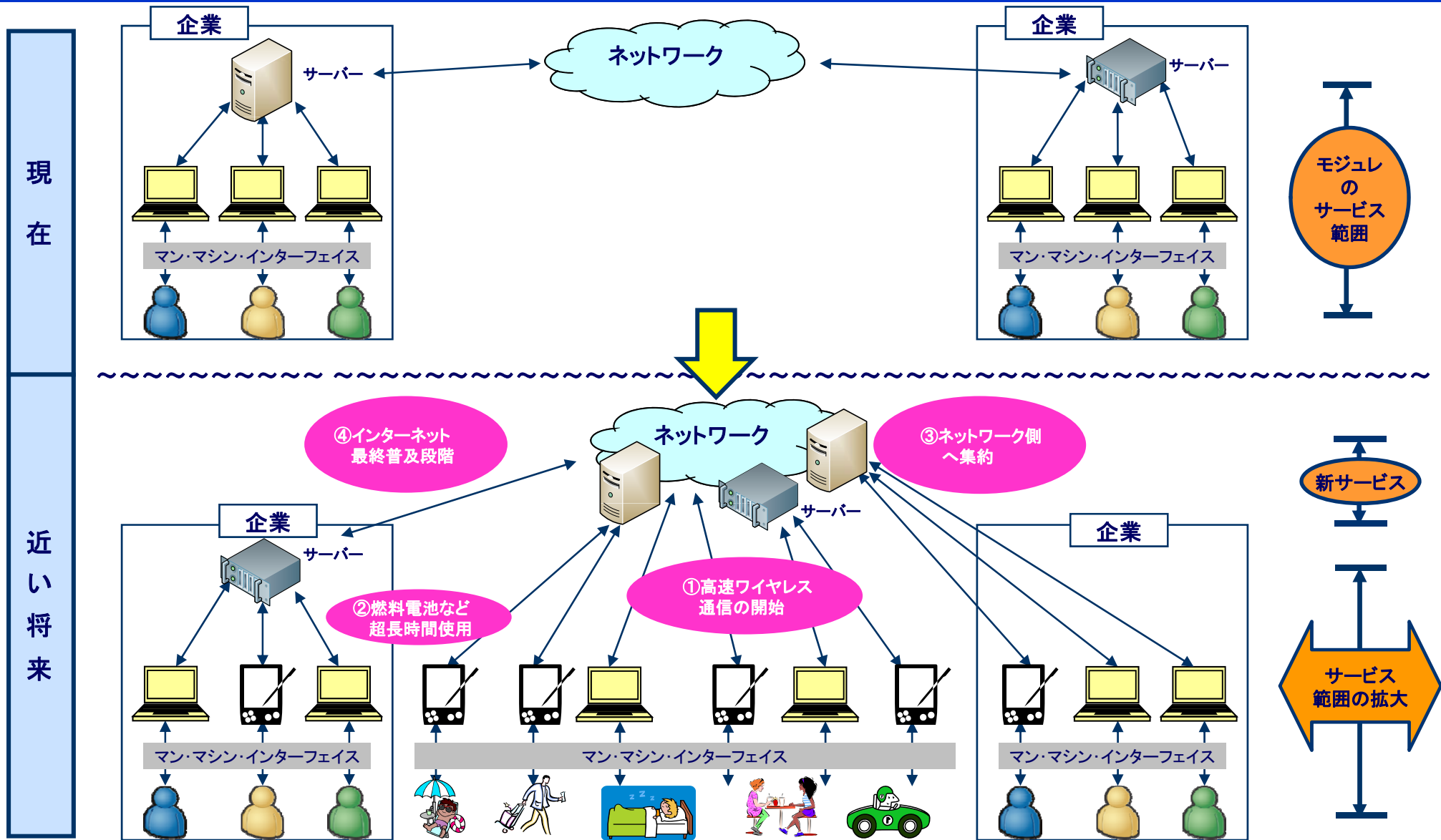
	2013年03月期・予測	2013年03月期・実績	2014年03月期・予測	2015年03月期・目標	2016年03月期・目標
マーケット環境	微プラス成長	○ 調査では1.5%増	微プラス成長	微プラス成長	微プラス成長
「現在」のサービス (オーダーメイド型サービス等)	堅実に契約の増加を目指す	◎ 年間継続契約額 1億900万円増加	堅実に契約の増加を目指す	堅実に契約増加、 及び他サービス シナジー効果追求	堅実に契約増加、 及び他サービス シナジー効果獲得
「周辺」のサービス (ソフトウェア開発等)	成長させながら、 現サービスと融合	◎ 前年対比実績 7倍以上に成長	更なる成長と、 開発系製品リリース	更なる成長と、 製品による拡販	更なる成長と、 製品による外部連携
サービスの「深化」 (ITセキュリティ関連等)	2サービス立上 (ITリスク軽減等)	◎ 2サービスの立上 +営業開始	2サービス収益貢献、 新サービス開始	全サービスの 認知度向上と 収益貢献	更なる拡販 及び他サービス シナジー効果獲得
サービスの「進化」 (スマートフォン/新デバイス等)	準備～営業開始	△ 準備や提案は進む 但し営業開始は今年	営業提案の元年	実績を向上	収益貢献 次世代につなぐ
サービスの「拡大」 (標準化パッケージ等)	次期に備え準備	(準備中)	(今後のマーケット次第で順次リリース)		

◆ 仔細は2013年5月21日、弊社発表の「中期経営計画」をご覧ください。

サービス拡大のイメージ



中期的IT分野の展望予測(4つの重要な変化)



お問い合わせ

【 I R 窓 口 】

ストラテジック プランニング サービス

E - mail : ir@modulat.com

Tel : 03-3454-2061

Fax : 03-3454-2062

<http://www.modulat.com/>



<本資料お取り扱い上のご注意>

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。